

2026年度 東海大学大学院 第3回 家族看護研究会

東海大学大学院家族看護学研究室では、
家族看護を様々な理論やツールを用いて分析しています。
今回は、**カルガリー式家族アセスメントモデル**を用いて分析し、
事例に適したアプローチ方法を検討します。

事例紹介

予期せぬ妊娠をした十代の若年のカップル。
両家の親に相談しないまま、二人だけの出産に至った。
新生児を前に親たちは、強い怒りや戸惑いを示し、家族間の話し合いは
難しい状況となっていた。
看護職は、これから親となる二人と子どもへの支援の必要性を感じながらも、
両家の親を前に困惑していた。看護職は脆弱な家族形成期のカップルと
その家族どのように捉え、どのように関わればよいのでしょうか。

プロフィール：新井陽子先生

北里大学看護学部を卒業後北里大学病院に助産師として勤務。
北里大学大学院博士課程を修了。2022年より群馬大学大学院保健学
研究科看護学講座教授で現職。各地でカルガリー家族アセスメント
モデルを用いた家族看護教育と実践の普及に努めている。

【日時】2026年11月14日(土)

【時間】13:00～16:00

【方法】対面開催

【会場】東海大学伊勢原キャンパス 3号館

※参加ご希望の方は当日会場へお越しください。
事前申し込みは不要です。

問合せ先：東海大学家族看護研究会事務局担当（小泉）
ホームページ：<https://kazokuns-tokai.jp>
メールアドレス：ori-koi-ri-yu-mi-ku@tokai.ac.jp

